



ごあいさつ

茨城県立中央看護専門学校
学校長 荻津 綾子

本校は、茨城県の中央部に位置する県立の看護専門学校です。50 年以上の歴史を持ち、8 千名以上の看護師・助産師を輩出してきました。

本校の特色は、助産学科と看護学科 3 年課程に加えて、准看護師免許を取得し更に看護師をめざす看護学科 2 年課程の 3 つの課程があることです。いずれの学科も、豊かな人間性や倫理性を育むことを教育理念に掲げ、専門職として地域社会のニーズに対応できる知識・技術・態度を養い、保健・医療・福祉に貢献できる人材の育成を目指しています。

少子高齢化が一層進む中で保健・医療・福祉の提供体制も変革を遂げようとしています。医療と生活の両方の視点をもった看護職には、多様な場で他の専門職と連携・協働し活躍することが期待され、患者の多様性・複雑性に対応した看護を創造する能力が求められています。

本校では、県内の医療機関や教育機関の全面的なご支援をいただき、豊富な講師陣をそろえ、また多くの実習施設を確保しています。伝統と多様性のある教育体制に基づき、地域社会の健康と福祉に貢献できる実践者を育成してきました。さらに、これからの時代に活躍できる看護職の育成を目指し、さらなる高みにつながる教育にも努めているところです。

平成 27 年度より社会人入学生のキャリアアップを支援するため、教育訓練給付金の専門実践教育訓練として厚生労働大臣より指定されています。また、放送大学との連携協力によるダブルスクール制度を導入しております。

看護師・助産師の道を目指す皆さんが、ぜひ本校で学ばれることを願っています。